



会長	遠藤光則	則		
幹事	猪股育夫	夫		
会報	佐藤敬喜	喜	佐々木	崇
	菅原文之	之	小竹秀	敏
	只野佳旦	旦	佐藤静	市
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327			
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30			
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327			

第2391回例会 2013. 3. 14 No.33

本日の出席率

- ・本日の出席率 83%
- ・前回確定出席率 88.7%

ニコニコボックス

- ・佐藤幸一会員 拙いスピーチですが、お付き合いを願います。台北訪問団の安着をお祈りします。
- ・鈴木彦太会員 佐藤幸一会員の実力あるスピーチを楽しみにご期待を申し上げます。
- ・布施孝之会員 佐藤幸一会員のスピーチを楽しみに。
- ・飯塚仁哉会員 佐藤幸一会員は、操の固きこと石の如く、心の白きこと石灰の如し。
- ・菅原文之会員 佐藤幸一会員のスピーチを歓迎して。
- ・村上武彦会員以下 佐藤幸一会員のスピーチに期待して。
 及川勝永会員 佐々木崇会員 千葉吉男会員
 氏家良典会員 菅野幸一郎会員 山田直志会員
 佐竹孝行会員 二階堂學会員 佐々木源悦会員
 熊谷敏明会員 小泉洋会員 菅原慶一会員
 小野寺伸浩会員 只野佳旦会員 武川毅会員
 岩淵栄市会員 佐藤早智子会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 佐々木源悦副会長

今日、遠藤光則会長はじめ7名の会員が台北西門RC創立36周年記念式典に出席のため朝早く出発致しました。遠藤光則会長に代って私が会長要件をさせていただきます。出席者7名のうち特に猪股育夫幹事と岩淵正彦副幹事は再来年度に予定されている佐沼RCの50周年記念事業の時の会長、副会長でありますので、台湾でも当クラブの50周年行事の宣伝と出席依頼をしっかりとしていただけると幸いです。

菅原文之之前会長から要請があり昨年度幹事になりましたが、その時は会長就任までまだまだとっていました。しかし、今月の23日には会長エレクトセミナー、31日には地区協議会が開催されることになりました。地区協議会が例年より早く開催されるため、次年度の委員長、副委員長を決めさせていただきました。地区協議会に出席要請のあった委員長さん方にはFAXをお願いをしました。3月31日は年度末の最後の日で忙しい中8名の新委員長より出席の連絡をいただいております。これからは、行事がたくさんありますので、皆様のご協力をお願い致します。

幹事報告 佐々木源悦副会長

- ・ガバナーエレクト事務所より
2013年地区協議会の次第及び参加申し込み表
- ・川崎大師RCより
創立40周年記念式典出席に対するお礼状
- ・大阪梅田東RCより
南三陸町の復旧、復興の支援について
- ・米山梅吉記念館より
春季例祭の案内と館報
・春季例祭
日 時 4月27日(土) 14:00~
場 所 米山梅吉記念館ホール

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会 (小野寺伸浩委員長)
第52回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンの場所変更のお知らせ
伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
↓
長沼フットピア公園
午前8時30分に集合し、清掃活動を行いますので多数の会員のご協力をお願い致します。

- ・親睦活動委員会 (高橋利光委員長)
花見移動例会のお知らせ
日 時 4月13日(土) 午後4時 調印式
午後6時 例会
場 所 ホテル観洋
会 費 宿泊 18,000円 日帰り 15,000円
(S-BOX込みです)

余日RCと友好クラブ調印式を行います。多数のご参加をお待ちしています。

今週のスピーチ

「登米総合産業高等学校について」

佐藤幸一会員

- ・平成27年4月開校
4校が統合されるのが27年4月です。上沼高校、米山高校、米谷工業高校、登米高校の4校が統合されます。登米高校については商業科だけが統合されます。25年度第1期生が、各高校で今のままの形の中で入学して、2年後に登米産業高校の生徒になります。但し、登米高校はそのまま登米高校の生徒となります。上沼高校、米山高校、米谷工業高校の3校は登米産業高校の生徒となります。

- ・学科構成
農業系学科、商業系学科、機械系学科、電気系学科、情報技術系学科、福祉系学科の6学科から構成され、1学科定員40名で総計240名となります。この数字は27年度の開校時の生徒数です。

現在の沼上沼高校野球グラウンドに新校舎を建て、今の校舎はとり壊して運動場になります。25年度あたりから色々な工事が始まるものと思っております。

- ・新しい高校の特色
専門学科、要するに職業に関する学科が多く、産業や工場に関係の人々は非常に期待を寄せています。即戦力になる生徒を養成してほしいという希望もありますが、高校生としての知識、基本的な技能だけでなく、あまり細かい技能を身に付けさせるのは如何なものかという意見もあります。むしろ高校生としての平均的な技能を持たせると同時に、幅広い人材を養成してもらうという意味でも、技能だけの詰め込みはさけた方が良くはないかということも話しました。

- ・特色ある教育活動
6学科ありますが学科間連携による教育効果の拡大するために

1. 総合産業課題研究 (3年次) : 異なる学科の生徒がそれぞれの専門知識を持ち寄り、共同で総合的・実践的な課題研究を行うことにより、生徒の専門的知識を拡大・深化させる。
2. 総合選択システム (2、3年次) : 学科を横断して、あらかじめ定められた一部の専門科目を選択することで、学習の幅が広がる (グループ化)。

又、地域や大学と連携し、インターンシップ、長期校外実習 (デュアルシステム)、起業家教育 (アントレプレナーシップ) 等々、実践的な教育に取り

組んでいきます。産業人として良い人材をここから輩出させようというのが、この高校の構想です。

- ・在籍生徒の取り扱い
上沼高校、米山高校、米谷工業高校に平成25、26年度に入学する生徒は、3校それぞれの高校入試を受け、各校の第1学年に入学しますが、その後、平成27年4月登米総合産業高校開校と同時に登米総合産業高校の生徒になり、総合校の新校舎に通学することになります。

- ※平成25年度入学生 : 登米総合産業高校1期生
- ※平成26年度入学生 : 登米総合産業高校2期生
- 登米高校の商業科に平成25、26年度に入学する生徒は、登米高校で3年間の学校生活を送り、登米高校の生徒として卒業することになります。

上沼高校、米山高校、米谷工業高校の平成25年度入学生から統一した新しい制服、運動着、上靴となります。その他、部活動、修学旅行、卒業アルバム、進路指導については現在検討中です。

一番問題になるのは、カリキュラムです。商工関係の方からは、やはり、即戦力となる生徒を養成してほしいという希望が多くあります。企業に合うような技能を3年間で修得させるのはなかなか難しいのではないかと考えています。一応基本的な知識や技能は修得してもらい、細かい技能、技術の修得は3年間では難しいと思います。高校生として将来大きく育つような人材育成に重点を置いた方がよいのではないかと考えています。企業人として即戦力という形にはめ込んでしまうような教育は、あまり私は好みません。企業に入って、その技能が個々に習ったものが全部生かされるということはないと思います。ただ、グループ化して、そのグループである課題に対して集中的に勉強することは、その課題に対する知識、技能はある程度修得することが出来ると思います。

場合によっては、企業とタイアップして、何か研究課題を設けて、テーマに沿った研究をするということも考えてみたいという話が学校側から出ました。おそらく、2年、3年の生徒はそういう方向の授業内容になっていくと思いますが、1~2年で成果が出るものについてはよいのですが、継続して何年もかかる研究課題に取り組むのは難しいと感じております。そういったことも含めて学校でどのような内容で他の企業と共同研究するかということも、企業、団体と検討する必要があるのではないかと考えています。

この地域に専門教育をする高校が出来るということは、我々産業人として歓迎しますが、何とか良い生徒を養成して企業に供給してもらいたいと思います。そして、地元企業は出来るだけ就職の門戸を開き、卒業生を受け入れられる様な企業としての人事もしなければいけないと考えております。

現在、高校卒業生の半分は地元就職を希望し、半分は県外希望です。県外希望でも途中採用で募集してみますと戻って来る人も結構あります。こういった現象が何故おこるのかと考えた時、地元高校生に受け入れられるような魅力ある企業になっていないのではないかと考えました。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。